

2025 年 1 月
No.25-002a(全)

総合検査案内誤植のお詫び

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、総合検査案内(2024-2025)におきまして誤植が判明いたしました。
弊社の不手際により、先生方にご迷惑をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。
何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■総合検査案内(2024-2025)の誤植

- 誤植の正誤につきましては、裏面をご確認ください。

総合検査案内 2024-2025 正誤表

頁	項目コード	検査項目名	誤植箇所	正	誤
48	1710	エステル型コレステロール (Echo)	J L A C 1 0	3F055-0000-023-271	3F050-0000-023-271
49	1717	脂肪酸分画(4成分)	保存方法 (安定性)	冷蔵(45日)	凍結(4週)
66	2351	ジアゼパム	検体量	血清 0.5mL	血清 0.3mL
			所要日数	4~8日	4~7日
111	8193	HTLV-1 核酸検出 定性	J L A C 1 0	5F454-1440-019-862	5F450-1440-019-862
115	6198	サイトメガロウイルス DNA 定性	J L A C 1 0	<血液> 5F194-1440-019-851	<血液> 5F194-1400-019-851
117	4960	ヒトヘルペスウイルス 6 型 DNA 定性	J L A C 1 0	<血液> 5F210-1440-019-851	<血液> 5F210-1400-019-851
132	-	サイトケラチン 18 フラグメント(CK-18F)	J L A C 1 0	5D326-0000-023-023	なし
			保存方法 (安定性)	凍結(31日)	凍結(なし)
			備考	参考非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の診断補助のためのカットオフ値は 260U/L です。	なし
133	1976	肺サーファクタントプロテイン A(SP-A)	検査方法	CLEIA 法	LA(ラテックス凝集比濁法)
157	6109	MLC(リンパ球混合培養)	J L A C 1 0	5K160-0000-019-814	なし
159	-	フローサイトクロスマッチ検査(リンパ球交差試験)	所要日数	4~7日	3~6日
			備考	検体1 受給者の提出材料は全血 2mL/常温(容器番号 03) 検体2 提供者の提出材料は保存液加血液 7.5mL/常温(容器番号 PAR)	検体1 受給者の提出材料は全血 2mL/冷蔵(容器番号 03) 検体2 提供者の提出材料は保存液加血液 7.5mL/冷蔵(容器番号 PAR)
166	1475 1470	AML FLT3 変異解析 (FLT3 阻害剤)	所要日数	5~12日	5~10日
			検体量*	骨髓液 1mL	髄液 1mL
			* Information No.24-105 検査内容変更のお知らせの修正です。		
167	-	免疫グロブリン L 鎖 C _λ 再構成	J L A C 1 0	8C729-9931-019-831 8C729-9931-046-831 8C729-9931-070-831	8C727-9931-019-831 8C727-9931-046-831 8C727-9931-070-831
170	-	NCC オンコパネルシステム	保存方法 (安定性)	<未染スライド> 冷蔵(なし)	<未染スライド> 常温(なし)
196	7886	D7S486 del(7)長腕欠失 /7 染色体(7モノソミー)	J L A C 1 0	8B374-0000-019-841 8B374-0000-046-841	8B370-0000-019-841 8B370-0000-046-841
200	-	マイクロアレイ染色体検査 (染色体構造変異解析)	検査方法	アレイ CGH 法	アレイ CDH 法
204	1148	FDP 定量<尿>	保存方法 (安定性)	凍結(21日)	凍結(なし)

頁	誤植箇所	正	誤
109	頁下 注釈*3 (6行目)	・本検査で増幅反応シグナルが”検出”であった場合、該当検体を全性再検査します。	・本検査で増幅反応シグナルが”検出”であった場合、該当検体を性再検査します。
124	頁下 注釈①	定性、定量検査を同時に行った場合、点数は定量検査の所定点数のみ算定されます。	定性、定量検査を同じに行った場合、点数は定量検査の所定点数のみ算定されます。

※下線部のみ修正いたします。その他の掲載内容に修正はございません。